

平成25年度 環境基本計画年次報告書 (平成24年度実績)

◆ 尾張旭市環境基本計画とは

尾張旭市環境基本条例に基づく計画で、本市の各種施策の環境面における基本的な方向を示す指針となるものです。今ある環境を将来の世代により良くしながら継承し、誰もが健康で快適な市民生活を営むために、市、市民・市民団体、事業者が協力し、環境に配慮した総合的な取組みを示すことを目的として平成19年3月に策定しました。計画では、「環境を考え ともに作る 私たちのまち」を望ましい環境像とし、この環境像を実現するため5つの分野別目標と12の施策を掲げています。

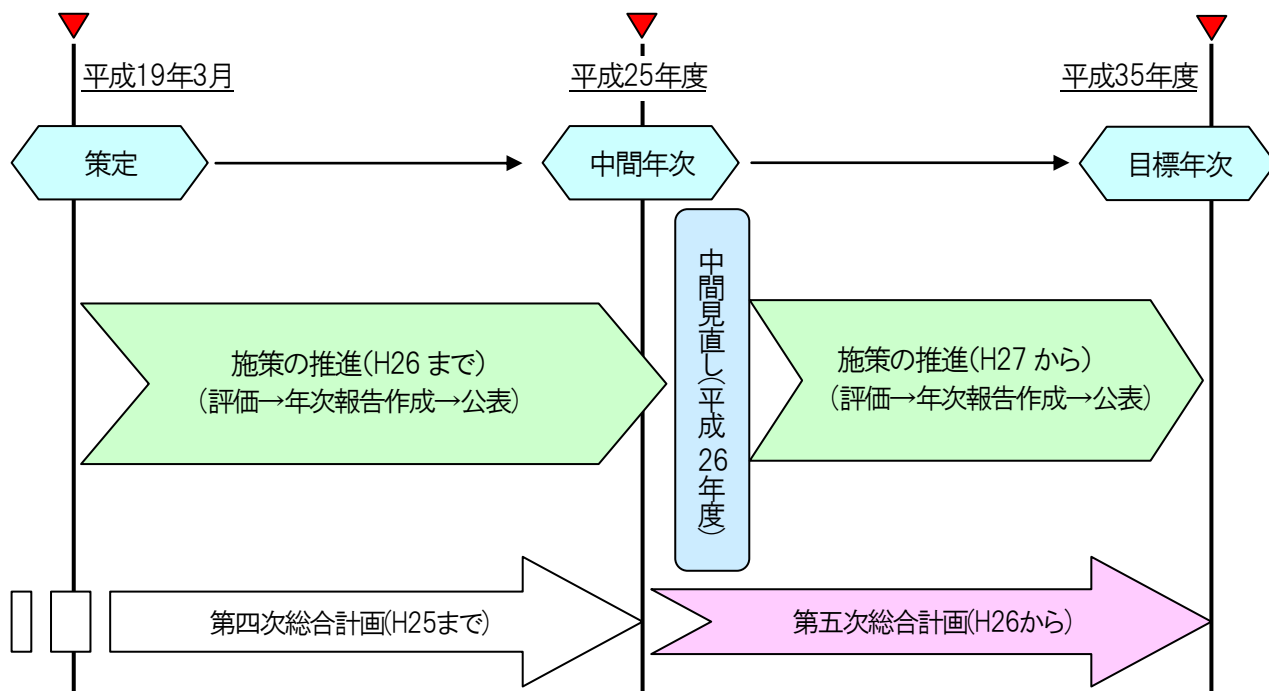
◆ 年次報告書とは

年次報告書は、尾張旭市環境基本計画の適正な進行管理を図るため、その年度に市が取り組んできた各施策の実施状況について、実績を踏まえた評価を行い取りまとめたもので、毎年度、公表しています。

◆ 計画の期間

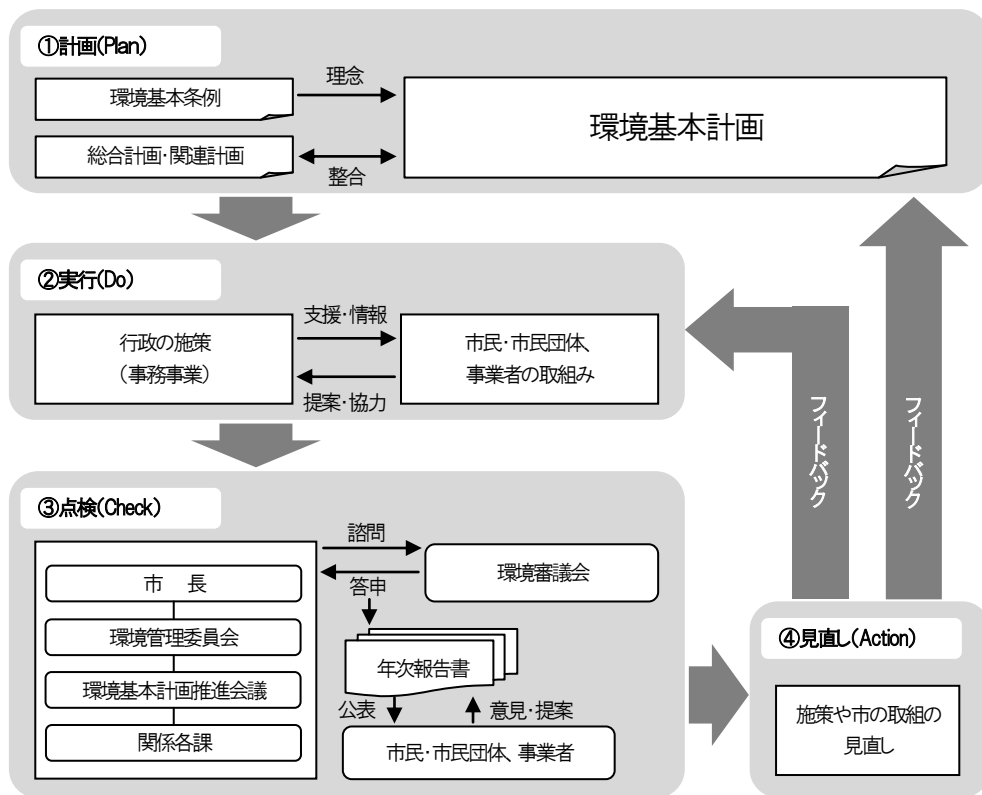
環境の保全及び創出にあたっては、長期的な視点に立つことが重要となります。このため、計画の期間は、平成35年度を目標年次とし、中間年次は、尾張旭市第四次総合計画の目標年次である平成25年度としています。

なお、この中間年次を迎える中、計画策定時からの環境や社会経済情勢の変化、そして、これまでの進捗状況や市総合計画を始めとした上位・関連計画の内容などを踏まえると、その見直しが必要な部分が生じてきています。このため、平成26年度に中間見直し(施策や指標の見直しなど)を行い、27年度以降にこれを適用することとしています。



◆ 計画の進行管理体制

市、市民・市民団体、事業者など、全ての主体が連携・協働のもと計画を着実に推進するため、環境マネジメントシステムの考え方(PCDAサイクル)を基本とした次のような推進体制によって進行管理を行い、計画に基づく取り組み状況を毎年、点検・評価し、公表します。



◆ 年次報告書の見方

◇「施策の進捗を見る指標と目標」の評価

H23実績値に対するH24実績値の状況を、目標値との比較を含めながら、次の区分に基づき評価しています。

「○」: 目標値を達成又は数値が改善 「△」: 数値に変化なし 「×」: 数値が悪化

※ 2年ごとに実施している「尾張旭市まちづくりアンケート」の結果を「指標」としている項目については、アンケート実施年度のものを掲載しています。

【該当する指標】 指標2:(P3)、指標12:(P8)、指標15:(P9)、指標20:(P11)、指標24・26:(P13)、
指標31・32・33:(P14)

◇「関連事務事業」の評価

各施策に関連する事業の、H24目標値に対するH24実績値の達成率の状況を、次の区分に基づき評価しています。

「◎」: 達成率が110%以上

「○」: 達成率が100%以上110%未満

「△」: 達成率が70%以上100%未満

「×」: 達成率が70%未満

事業を実施した担当課等は、次の略号で示しています。

市活: 市民活動課	都整: 都市整備課	消防: 消防本部	総務課	図書: 図書館
産業: 産業課	土木: 土木管理課	学教: 学校教育課		
環境: 環境課	下水: 下水道課	生涯: 生涯学習課		
都計: 都市計画課	上水: 上水道課	衛生: 尾張旭市長久手市衛生組合		

◆ 各施策の実施状況

望ましい環境像の実現に向けて5つの分野別目標と12の施策を掲げ、各施策ごとに取り組みを進めています。これらを評価した結果、全33指標中、○(基準値に対し、数値が改善)が22件(67%)、△(数値に変更なし)が3件(9%)、×(数値が悪化)が6件(18%)となり、全体として前年度と比べ若干悪化している状況にあります。【評価無:2件】
 ※平成23年度実績 ○:26件(79%)、△:2件(6%)、×:5件(15%)【評価無:0件】

《分野別目標》(5)	《施策》(12)	《指標》(33)	《評価》	
			今回	前回
1 学び広げるまちづくり	1-1 環境教育・環境学習を進める	1 環境について学んだことのある児童生徒の割合(%)	○	○
		2 環境問題に関心を持って自ら学んでいる市民割合(%)	×	△
	1-2 環境保全活動を進める	3 環境保全活動等に参加している市民団体数(団体)	△	○
		4 環境保全活動参加者数(人)	△	○
2 ごみのないまちづくり	2-1 ごみを減らす	5 市民一人一日あたりのごみ総量(g/人・日)	○	○
		6 市民一人一日あたりの家庭系ごみ排出量(g/人・日)	○	○
		7 事業系ごみ排出量(t/年)	○	○
	2-2 ごみを生かす	8 家庭ごみに占めるリサイクルごみの割合(%)	○	○
		9 環境事業センターにおけるリユース件数(件)	×	×
	2-3 ごみを適正に処理する	10 不法投棄箇所数(箇所)	×	×
		11 違法な焼却に関する苦情件数(件)	×	×
3 地域で地球を考えるまちづくり	3-1 地球温暖化を防ぐ	12 地球環境に優しい生活を送っている市民割合(%)	○	○
		13 代替エネルギーの利用公共施設数(箇所)	○	○
		14 公用車の低公害車普及率(%)	○	○
	3-2 地球規模の問題に取り組む	15 地球環境に優しい生活を送っている市民割合(%) (再掲)	○	○
	4 自然とふれあうまちづくり	4-1 緑と水辺を守る	16 公共緑地面積(ha)	○
17 民有緑地面積(ha)			△	×
18 ため池面積(ha)			○	○
19 農業振興地域における農地面積(ha)			○	○
4-2 緑に親しむ		20 緑・水に親しめる場所があると思う市民割合(%)	○	○
4-3 生き物に配慮する		21 緑地面積(ha)	○	○
		22 緑被率(%)	○	○
	23 ため池面積(ha) (再掲)	○	○	
5 暮らしやすい快適なまちづくり	5-1 安全で健康な暮らしを守る	24 快適な生活衛生環境だと思ふ市民の割合(%)	○	○
		25 生活衛生環境に関する苦情件数(件)	×	×
		26 エコドライブを心がけているドライバーの割合(%)	—	△
		27 公共下水道普及率(%)	○	○
		28 BODの矢田川での改善数値(mg/L以下)	○	○
		29 BODの天神川での改善数値(mg/L以下)	○	○
	30 水質を維持している主要ため池数(箇所)	○	○	
	5-2 快適でゆとりある都市空間をつくる	31 秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民割合(%)	×	○
		32 都市景観に満足している市民割合(%)	○	○
		33 犬のふん・ごみのポイ捨てなどをしない環境マナーに満足している市民割合(%)	—	○

施策1-1 環境教育・環境学習を進める

○施策の進捗を見る指標と目標 ※「目標値」が矢印のものは、その指標の方向性を示しています。

指標名		H17 実績値	H25 目標値	H35 目標値	H23 実績値	H24 実績値	評価
1	環境について学んだことのある児童生徒の割合(%)	100	100	100	100	100	○
2	環境問題に関心を持って自ら学んでいる市民割合(%)	12.7 (H16年度)	→	→	12.9 (H22年度)	12.4 (H24年度)	×

《現状》

「副読本購入・社会見学支援事業」などの実施によって、学校教育における環境教育や体験学習の支援を継続的に行うとともに、小学生を対象とした水生生物調査を実施し、環境保全への理解促進と意識高揚を図っています。
また、名古屋産業大学と連携を図りながら「環境学習講座」や「環境フォーラム」を開催するとともに、農政講座や職員出前講座をはじめとする各種講座を開催し、広報やホームページ等による情報提供や啓発も行っています。
その結果、「環境について学んだことのある児童生徒の割合」は良好な状態で推移しているものの、「環境問題に関心を持って自ら学んでいる市民割合」は、前回と比べ0.5ポイント減少しています。
しかし、「地球環境に優しい生活を送っている市民割合(指標12)」が順調に上昇していることから、環境については関心があり行動にも繋がってはいるものの、自ら学ぶことには繋がっていない状況にあります。

《今後の展開》

自然と共生した持続可能な社会をつかっていくためには、一人一人の自覚と行動が非常に重要であり、世代を越えて引き継がれていく必要があります。また、これを実現するためには、環境についての正しい知識を持ち、進んで行動できるような人材の育成が大変重要であると考えられます。
このため、平成26年度に名古屋市で開催される「ESD(持続可能な開発のための教育)に関するユネスコ世界会議」を良いきっかけとして、教育活動に視点を置いた環境教育や、学習者の学びに視点を置いた環境学習に関する事業を、より積極的に推進していきます。

○関連事務事業

事務事業	事業名	成果指標	H24 目標値	H24 実績値	評価	H25 目標値	担当
21-0103	野外活動推進事業(小学校)	児童参加率(%)	100	100	○	100	学教
		野外活動参加者の満足度(%)	90	98	○	90	
21-0104	野外活動推進事業(中学校)	生徒参加率(%)	100	100	○	100	学教
		野外活動参加者の満足度(%)	60	91	◎	60	
22-0101	副読本購入・社会見学支援事業(小学校)	授業に副読本を利用した割合(%)	100	100	○	100	学教
22-0107	総合的な学習の時間推進事業(小学校)【環境教育】	学習意欲がある児童の割合(%)	93	96.8	○	93	学教
		学習意欲のある生徒の割合(%)	80	87.7	○	80	
22-0301	特色ある学校づくり推進事業【環境教育】	実施校の割合(%)	100	100	○	100	学教
		特色ある学校づくりに要する費用の支援割合(%)	80	100	◎	80	
24-0101	農政講座事業	講座の内容に対する理解度(%)	70	89	◎	70	産業
		講座に対する満足度(%)	85	95	◎	85	
24-0202	生涯学習情報提供事業	提供した情報数(教授リスト・団体リスト登録件数、掲載講座数)	600	582	△	600	生涯
45-0101	消費生活推進事業	消費生活展及び消費生活講座参加人数(人)	2,000	1,535	△	2,000	産業
52-0101	環境保全対策事業	講座参加人数(人)	80	66	△	80	環境
53-0103	河川水質の浄化推進事業	BOD計画目標値の達成率(%)	80	71	△	80	環境

施策1-2 環境保全活動を進める

○施策の進捗を見る指標と目標

指標名		H17 実績値	H25 目標値	H35 目標値	H23 実績値	H24 実績値	評価
3	環境保全活動等に参加している市民団体数(団体)	16	30	40	26	26	△
4	環境保全活動参加者数(人)	500	1,000	1,200	850	850	△

《現状》
 「市民活動支援事業」の実施によって、環境保全に係るボランティア団体やNPOの活動を支援するとともに、アダプトプログラムや公園愛護会制度の運用によって、市民による環境保全活動の支援を行っています。
 その結果、「環境保全活動等に参加している市民団体数」、「環境保全活動参加者数」ともに基準値と比べ増加し、各種活動も恒例行事として定着しつつありますが、近年は大きな変化が見られない状況になっています。

《今後の展開》
 全ての人が、環境への負荷の少ない行動を自ら進んで行う社会を目指すためには、市民やNPOなどの民間団体や事業者による自主的で積極的な環境保全活動に対する支援が重要であると考えられます。
 このため、環境教育や環境学習に関する事業の拡大などを通じて、環境保全活動への参加や環境保全団体の設立を促進していきます。

○関連事務事業

事務事業	事業名	成果指標	H24 目標値	H24 実績値	評価	H25 目標値	担当
52-0101	環境保全対策事業	市の施設における温室効果ガス排出量(tCO2)	2,300	2,386.7	○	2,300	環境
71-0101	地域コミュニティ活性化事業	地域活動(自治会等)への行政支援に不満のない市民割合(%)	75	73	△	75	市活
		地域活動が活発に行われていると思う市民割合(%)	20	19.2	△	20	
71-0301	市民活動支援事業	市民活動支援センター登録団体(団体)	44	50	◎	50	市活
		市民活動支援センター利用人数(人)	1,800	2,104	◎	2,200	

施策1 ピックアップ事業

◇環境フォーラムの開催
 ・環境に対する意識啓発を図るため、講演や活動団体による報告等を名古屋産業大学と尾張旭市の共催により毎年開催。
 ・平成24年度は12月に名古屋産業大学文化センター大ホールで開催。
 ・講演内容:「福島原発事故以後の日本の環境問題」、「尾張旭市の環境政策の現状」、「災害時におけるサプライチェーンの挙動予測」、「生ごみ資源化活動」

◇環境学習講座の開催
 ・環境に関する知識や行動を身につけるための学習活動の場として、4月にわたって環境に関する講座を、名古屋産業大学教授等の協力を得て開催。
 ・講演内容:「環境に優しい製品やエネルギー」、「人口減少社会におけるまちづくり」、「ススキの原っぱがあった頃の農村の自然と社会」、「海岸の自然再生と震災からの復興」

施策2-1 ごみを減らす

○施策の進捗を見る指標と目標

指標名		H17 実績値	H25 目標値	H35 目標値	H23 実績値	H24 実績値	評価
5	市民一人一日あたりのごみ総量(g/人・日)	1,073	991	930	940	921	○
6	市民一人一日あたりの家庭系ごみ排出量(g/人・日)	832	775	730	751	743	○
7	事業系ごみ排出量(t/年)	6,993	6,938	6,570	5,666	5,320	○

《現状》

「市民一人一日あたりのごみ総量」、「市民一人一日あたりの家庭系ごみ排出量」ともに毎年減少しており、ごみの減量に対する市民意識は徐々に醸成され、また浸透しつつあると考えられます。

なお、「事業系ごみの排出量」は、ごみ処理に関する手数料の値上げや、長引く景気低迷などによって目標に対し大きく減少しています。

《今後の展開》

生ごみ減量に関する補助事業を継続して実施するとともに、ごみ処理施設の見学会や小学生による「クリーンシティ推進ポスター・標語募集事業」を実施することで、さらなるごみの減量に対する意識醸成を促進していきます。

○関連事務事業

事務事業	事業名	成果指標	H24 目標値	H24 実績値	評価	H25 目標値	担当
51-0101	クリーンシティ推進ポスター・標語募集事業	ポスターを提出した割合(%)	90	100	◎	90	環境
		標語を提出した割合(%)	90	100	◎	90	
51-0201	生ごみ処理補助事業	生ごみ処理機やコンポストを利用し、ごみ減量している市民割合(%)	10.5	10.8	○	10.5	環境

施策2-2 **ごみを生かす**

○施策の進捗を見る指標と目標

指標名		H17 実績値	H25 目標値	H35 目標値	H23 実績値	H24 実績値	評価
8	家庭ごみに占めるリサイクルごみの割合(%)	28.4	35	39	29.8	30.0	○
9	環境事業センターにおけるリユース件数(件)	641	900	950	498	129	×

《現状》

市民団体による資源ごみの回収や、環境事業センター内に常設している「リサイクル広場」での啓発、さらには市のホームページで情報提供している「あげます情報、ください情報」などによって、ごみの資源化率は年々増加傾向にあります。

なお、環境事業センターにおけるリユース件数は、平成23年度より実施した「粗大ごみの有料化」の影響を受け、大幅に減少しています。

《今後の展開》

「資源ごみ回収団体活動奨励事業」の運用や、リサイクル広場の充実によって、ごみのリサイクルを促進していきます。

また、「夏休み親子リサイクル教室」の開催や、民間事業者と共同で開催する「エコクッキング教室」などによって、資源回収に関する意識啓発を引き続き促進していくとともに、公共施設から排出される剪定ごみの資源化についても推進していきます。

なお、環境事業センターにおけるリユース件数については、「リユース品の引取り・提供事業」を開始することに伴い、目標値の見直しを行います。

○関連事務事業

事務事業	事業名	成果指標	H24 目標値	H24 実績値	評価	H25 目標値	担当
24-0401	読書奨励事業【本のリサイクル】	各事業の延べ人数(参加者数・応募者数)(人)	10,300	11,391	◎	11,500	図書
51-0301	資源ごみ等処理事業	資源化率(%)	33.8	30	△	35	環境
51-0303	資源ごみ回収団体活動奨励事業	回収量(t)	3,200	3,269	○	3,200	環境
54-0510	し尿処理施設維持管理事業	汚泥資源化量(t)	0	0	-	0	衛生
51-0902	リサイクル広場運営事業	リサイクル広場におけるリサイクル・リユース件数(件)	24,000	24,728	○	24,000	環境
		リサイクル広場に持ち込まれた資源ごみ量(t)	260	370	◎	260	
72-0103	市民祭開催事業【リサイクルマーケット】	市民祭への参加率(%)	68	70	○	75	産業

施策2-3 ごみを適正に処理する

○施策の進捗を見る指標と目標

指標名		H17 実績値	H25 目標値	H35 目標値	H23 実績値	H24 実績値	評価
10	不法投棄箇所数(箇所)	26	0	0	49	41	×
11	違法な焼却に関する苦情件数(件)	17	10	0	45	40	×

《現状》
 環境保全指導員によるパトロールや各種看板の設置、分別に関するパンフレットの配布などによって、ごみの適正排出の実現を図っていますが、不法投棄や違法な焼却などは後を絶たない状況にあり、危険物混入による事故やごみのポイ捨てなども発生しています。

《今後の展開》
 引き続き、市民ボランティアによる環境パトロールの協力を得ながら地域の環境監視を実施するとともに、ごみ処理施設の見学会を開催したり、広報やホームページ等による情報提供を実施したりすることで、ごみの適正処理に対する意識醸成を促進していきます。
 また、「尾張旭市良好で快適な生活環境を確保する条例」に基づき、空き缶・吸い殻等の投げ捨てるの禁止や、屋外焼却行為の制限を徹底するなど、より厳しい姿勢で対応を進めていきます。

○関連事務事業

事務事業	事業名	成果指標	H24 目標値	H24 実績値	評価	H25 目標値	担当
22-0101	副読本購入・社会見学支援事業(小学校) 【ごみ処理施設の見学】	バスを利用した学校の割合(%)	100	100	○	100	学教
51-0501	塵芥収集事業	市で収集している資源ごみの量(t)	3,500	3,044	△	3,500	環境
51-0902	リサイクル広場運営事業	リサイクル広場におけるリサイクル・リユース件数(件)	24,000	24,728	○	24,000	環境
		リサイクル広場に持ち込まれた資源ごみ量(t)	260	370	◎	260	

施策2 ピックアップ事業

- ◇まち美化大作戦の実施
 平成24年5月27日(日)に、市内全域を対象として市民や地域団体事業者等が、ごみゼロ運動(ごみ拾い)を一斉に実施。
- ◇一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の策定
 市民アンケートや市民・事業者等との協働による策定会議の開催、パブリックコメントの実施などを経て、「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」を策定。(計画期間:平成26年度から35年度)



施策3-1 地球温暖化を防ぐ

○施策の進捗を見る指標と目標 ※「目標値」が矢印のものは、その指標の方向性を示しています。

指標名		H17 実績値	H25 目標値	H35 目標値	H23 実績値	H24 実績値	評価
12	地球環境に優しい生活を送っている市民割合(%)	46.4 (平成16年度)	→	→	66.2 (平成22年度)	67.3 (平成24年度)	○
13	代替エネルギーの利用公共施設数(箇所)	2	→	→	6	6	○
14	公用車の低公害車普及率(%)	26.8	70	100	54	56.1	○

《現状》

市営バス「あさび一号」をはじめとした公共交通の利用促進や緑化の推進を図るとともに、再生可能エネルギーの利用促進を進めるため、住宅用太陽光発電システムの設置に対する財政措置を補正予算にて対応しています。
また、夏季の室内温度の上昇を抑制するため、各家庭や事業所を対象として「緑のカーテン」用の苗の配布をしたり、市内の公共施設でも同様の事業を展開してエアコンの設定温度の適正化を図ったりするなど、地球温暖化防止に対する意識の高揚にも取り組んでいます。
その結果、全ての指標において良好な状態で推移しており、特に「地球環境に優しい生活を送っている市民割合」は非常に高い水準にあると考えられます。

《今後の展開》

再生可能エネルギーの利用普及を促進するため、住宅用太陽光発電システム設置に対する補助制度の充実化を進めるとともに、各家庭や事業所へのゴーヤの苗の配布事業を継続し、「地球環境に優しい生活をおくる市民の割合」の向上につなげていきます。
また、市内全ての公共施設で緑のカーテン事業を実施するとともに、環境省の「再生可能エネルギー等導入推進事業」を活用して、公共施設への太陽光発電設備の設置を進めるなど、行政としても率先して地球温暖化の防止に取り組んでいきます。

○関連事務事業

事務事業	事業名	成果指標	H24 目標値	H24 実績値	評価	H25 目標値	担当
32-0101	公共交通網整備事業	市営バスの利用者数(人)	141,000	148,868	○	143,000	都計
		公共交通運行本数(民間事業者)(本)	490	438	△	490	
42-0202	消防車両購入事業	NOx・PM法排出基準適合車両割合(%)	90	90	○	100	消防
51-0504	清掃車両維持管理事業	環境に対応した塵芥収集車の割合(%)	100	100	○	100	環境
52-0101	環境保全対策事業	市の施設における温室効果ガス排出量(tCO2)	2,300	2,386.7	○	2,300	環境
52-0201	再生可能エネルギー利用推進事業	補助金交付世帯数(累計)	161	255	◎	380	環境
		補助対象Kw数(累計)	603	951	◎	1,451	
53-0101	自然林保全事業	森林病虫害防除率(%)	56	56	○	56	産業
53-0201	緑化助成事業	助成を行った生垣の延長(m)	140	36	×	140	都整
		記念樹引換件数(件)	150	115	△	150	
53-0202	緑化推進事業	公共施設の緑化推進事業箇所数(箇所)	5	5	○	5	都整
		スポットガーデン総面積(m ²)	654	654	○	654	

施策3-2 地球規模の問題に取り組む

○施策の進捗を見る指標と目標 ※「目標値」が矢印のものは、その指標の方向性を示しています。

指標名		H17 実績値	H25 目標値	H35 目標値	H23 実績値	H24 実績値	評価
15	地球環境に優しい生活を送っている市民割合(%) (再掲)	46.4 (平成16年度)	→	→	66.2 (平成22年度)	67.3 (平成24年度)	○

《現状》

貴重な資源である水道水の有効利用や節水についての意識の向上を図るため、水道週間などの際に水道施設の見学会を実施するなど啓発活動を行っています。
 また、各家庭で環境負荷の少ない行動をとっていただくため、「家庭版環境ISO事業」や「コツコツダイエットプラン事業」への参加者を募集するなどの取り組みによって、「地球環境に優しい生活を送っている市民割合」は、前回と比べ増加しています。
 なお、下水道への接続によって不用となった浄化槽を、雨水貯留槽に転用するための費用の一部を補助していますが、対象となる場合が少ないため、その件数は目標値に達していない状況にあります(平成24年目標値:10件、実績:2件)。

《今後の展開》

本市の市民一人一日当たりの平均給水量は、全国平均や県平均と比較して低い水準にあるため、今後大幅な低減は見込めないものの、水の有効利用に関する啓発活動は継続して実施していきます。
 なお、運用開始後年数が経過している「家庭版環境ISO事業」や「コツコツダイエットプラン事業」については、近年参加者数が伸び悩んでいるため、効果的なPR方法や取り組みやすい内容への変更等について検討していきます。

○関連事務事業

事務事業	事業名	成果指標	H24 目標値	H24 実績値	評価	H25 目標値	担当
33-0301	水の有効利用促進事業	節水行動をしている市民の割合(%)	84	80	△	85	上水
		一人一日平均給水量(L)	283	284	○	282	
34-0407	浄化槽雨水貯留施設転用補助事業	補助件数(件)	10	2	×	5	下水

施策3 ピックアップ事業

◇住宅用太陽光発電システム設置費の補助推進事業

市民のクリーンエネルギーの利用を促進するため、住宅用太陽光発電システム設置に係る必要の一部を補助。

- ・1Kwあたり2万円(最大4Kw(8万円)を上限)
- ・補助実績:94件(159件から抽選)
- ・当初予算額:400万円 補正予算額:700万円(当初比300万円追加)

◇緑のカーテン事業

▽市民・事業所へのゴーヤ苗配布

・イベント時などにおいて引換券を配布し、市内協力店舗で苗と交換し、各家庭や事業所で「緑のカーテン」を作成。

・苗配布実績:5,532個

▽公共施設での緑のカーテン事業

・環境負荷軽減への取り組みを広く市民や事業者へ啓発し、市を挙げて省エネルギーへの取り組みを推し進めるため、市内公共施設(48施設 ※平成23年度:37施設)で緑のカーテンを設置。



施策4-1 緑と水辺を守る

○施策の進捗を見る指標と目標

指標名		H17 実績値	H25 目標値	H35 目標値	H23 実績値	H24 実績値	評価
16	公共緑地面積(ha)	494	495	500	502	502	○
17	民有緑地面積(ha)	18.0	18.0	18.0	17.4	17.4	△
18	ため池面積(ha)	38.7	38.7	38.7	38.7	38.7	○
19	農業振興地域における農地面積(ha)	123	120	116	123	123	○

《現状》

「都市計画マスタープラン」や「緑の基本計画」に基づき、街区公園や矢田川散歩道の整備などを進めています。また、ため池の整備や保存樹等の保全活動を展開し、緑と水辺の保全を促進しています。
 しかし、ちびっ子広場の廃止もあり、「公共緑地面積」は、ほぼ同じ数値で推移しており、「民有緑地面積」については、土地区画整理事業の進捗や生産緑地の制限解除などに伴って減少傾向にあるなど、宅地化等の進行によって緑地の拡大は難しい状況にあります。

《今後の展開》

土地区画整理事業区域内の公園整備や矢田川散歩道の整備を進め、緑地の確保を図っていきます。また、主要なため池の一つである濁池が、安全で豊かな自然とふれあえる憩いの場となるように、現在の環境に配慮しながら必要最小限の整備を進めていきます。
 さらに、農地の保全を図るため、耕作放棄地解消のための経費や、農協が実施する景観形成作物の栽培経費を補助するとともに、市民に農業を身近に感じてもらうため「田んぼアート」や「田んぼイルミネーション事業」を実施していきます。

○関連事務事業

事務事業	事業名	成果指標	H24 目標値	H24 実績値	評価	H25 目標値	担当
53-0101	自然林保全事業	森林病虫害防除率(%)	56	56	○	56	産業
53-0104	保存樹等保全助成金	適正に管理されている保存樹等の割合(%)	100	100	○	100	都整
53-0301	濁池整備事業	事業進捗率(%)	46	55	◎	75	産業
53-0302	矢田川散歩道整備事業	市内の水辺空間を利用したことがある市民割合(%)	60	54.7	△	60	都整
63-0101	農地保全事業	秋の花の栽培面積(ha)	0.45	0.45	○	0.45	産業
		農地に占める景観形成面積の割合(%)	0.38	0.4	○	0.42	
63-0201	農業用施設維持管理事業	要望・苦情解決率(%)	100	100	○	100	産業
63-0301	ふれあい農園運営事業	農園利用者数(延べ)(人)	2,465	2,465	○	2,630	産業
63-0302	地域農業活性化事業	地域特産物出荷量(t)	22	16.3	×	22	産業
		地域特産物数(品目)	2	2	○	2	
72-0105	農業まつり支援事業	農業まつりへの参加率(%)	10	10	○	10	産業

施策4-2		緑に親しむ					
○施策の進捗を見る指標と目標 ※「目標値」が矢印のものは、その指標の方向性を示しています。							
指標名		H17 実績値	H25 目標値	H35 目標値	H23 実績値	H24 実績値	評価
20	緑・水に親しめる場所があると思う市民割合(%)	81.2 (平成16年度)	→	→	85.7 (平成22年度)	87.3 (平成24年度)	○
<p>《現状》</p> <p>都市化に伴って森林や農地が減少するなか、ため池を利用した環境整備や山辺の散歩道、そして矢田川散歩道の整備を進めるとともに、市民活動団体によってこれらの保全や有効活用に関する取組みが進められています。また、維摩池や矢田川などでウォーキング大会を開催するとともに、濁池では約半世紀ぶりに「池干し」を実施しました。</p> <p>その結果、「緑・水に親しめる場所があると思う市民割合」は、前回と比べて増加し、基準値と比べても高くなっています。</p>							
<p>《今後の展開》</p> <p>市民との協働によって、土地区画整理事業区域内の公園整備を進め、緑に親しむことのできる空間確保を推進していきます。</p> <p>また、自然と触れ合う機会をさらに提供するため、各種イベントを継続的に実施するとともに、市民団体が実施する事業についても積極的に支援していきます。</p>							

○関連事務事業

事務事業	事業名	成果指標	H24 目標値	H24 実績値	評価	H25 目標値	担当
21-0103	野外活動推進事業(小学校)	児童参加率(%)	100	100	○	100	学教
		野外活動参加者の満足度(%)	90	98	○	90	
21-0104	野外活動推進事業(中学校)	生徒参加率(%)	100	100	○	100	学教
		野外活動参加者の満足度(%)	60	91	◎	60	
31-0201	公園維持管理事業	公園に満足している市民割合(%)	30	26.3	△	30	都整
31-0202	都市公園新設事業	一人当たり都市公園面積(㎡/人)	9.1	9.1	○	9.1	都整
		公園に満足している市民割合(%)	30	26.3	△	30	
53-0102	吉賀池湿地保全事業	観察路整備率(全体事業費ベース)(%)	100	100	○	100	産業
		来場者数(人)	300	784	◎	1,000	
53-0201	緑化助成事業	助成を行った生垣の延長(m)	140	36	×	140	都整
		記念樹引換件数(件)	150	115	△	150	
53-0202	緑化推進事業	公共施設の緑化推進事業箇所数(箇所)	5	5	○	5	都整
		スポットガーデン総面積(㎡)	654	654	○	654	
53-0302	矢田川散歩道整備事業	市内の水辺空間を利用したことがある市民割合(%)	60	54.7	△	60	都整

施策4-3 生き物に配慮する

○施策の進捗を見る指標と目標

指標名		H17 実績値	H25 目標値	H35 目標値	H23 実績値	H24 実績値	評価
21	緑地面積(ha)	512	513	518	520	520	○
22	緑被率(%)	24.3	24.4	24.6	24.7	24.7	○
23	ため池面積(ha)(再掲)	38.7	38.7	38.7	38.7	38.7	○

《現状》
 街区公園や矢田川散歩道の整備などによって、生物の生育・生息空間となる緑地の面積や緑被率は、現状を維持しています。
 また、吉賀池の貴重な湿地植物の保護を行うとともに、ハクビシンなどの外来生物の駆除を進め、本来の生態系等に対する被害防止に努めています。
 なお、平成24年度には、ため池の役割を知り、そこに住む生物の生態系と水辺環境を考える機会を提供するため、地域団体や小学生などの参加により「池干し」を実施しました。

《今後の展開》
 今後も残された緑地や水辺の保全を推進していくとともに、外来生物の駆除によって生態系の保全にも取り組んでいきます。
 また、シラタマホシクサやサギソウなどの貴重な湿地植物が生育する吉賀池湿地の保全にも取り組み、一般公開の回数を増やすことによって、自然環境の保全意識の高揚につなげていきます。

○関連事務事業

事務事業	事業名	成果指標	H24 目標値	H24 実績値	評価	H25 目標値	担当
53-0102	吉賀池湿地保全事業	観察路整備率(全体事業費ベース)(%)	100	100	○	100	産業
		来場者数(人)	300	784	◎	1,000	
53-0301	濁池整備事業	事業進捗率(%)	46	55	◎	75	産業

施策4 ピックアップ事業

◇吉賀池湿地保全事業

- ・貴重な植物等が生息する吉賀池湿地を保全するため、維持管理と植生調査等を実施。
- ・湿地内の施設修繕(井戸の浚渫、観察路の更新)などを実施。
- ・市民に自然と触れ合う場を提供するため、一般公開を年10回開催。



施策5-1 安全で健康な暮らしを守る

○施策の進捗を見る指標と目標 ※「目標値」が矢印のものは、その指標の方向性を示しています。

指標名	H17 実績値	H25 目標値	H35 目標値	H23 実績値	H24 実績値	評価
24 快適な生活衛生環境だと思う市民の割合(%)	56.1 (平成16年度)	→	→	68.0 (平成22年度)	69.5 (平成24年度)	○
25 生活衛生環境に関する苦情件数(件)	966	900	800	1,244	1,148	×
26 エコドライブを心がけているドライバーの割合(%)	30.7 (平成16年度)	→	→	30.6 (平成22年度)	30.6 (平成22年度)	—
27 公共下水道普及率(%)	49.1	60.0	75.0	63.4	63.7	○
28 BODの矢田川での改善数値(mg/L以下)	14	8.0	→	6.7	5.7	○
29 BODの天神川での改善数値(mg/L以下)	12	8.0		7.4	6.3	○
30 水質を維持している主要ため池数(箇所)	7	7	7	7	7	○

※指標26は、自家用車へのアイドリングストップ機能の標準装備化の進展により平成24年度の調査対象外となったため、平成22年度の数値を掲載し、評価をしていません。

《現状》

公共下水道の整備などによって、年度によって多少のばらつきはあるものの、徐々に河川の水質は改善されつつあり、「快適な生活衛生環境だと思う市民の割合」も高い水準に達しています。
一方、「生活衛生環境に関する苦情件数」は依然として多く、騒音や野焼き、悪臭、害虫に関することがその大半を占め、直ちに解決することが困難な場合も多くなっています。

《今後の展開》

水質の保全や周辺環境の改善に向け、公共下水道の整備や合併処理浄化槽の設置促進などに取り組むとともに、主婦層を対象として「生活排水クリーン推進員」を委嘱し、生活環境の視点からの対応も進めていきます。また、市民ボランティアの協力を得ながら、地域の環境監視に取り組むとともに、関係機関や近隣自治体との連携によって、地下水や土壌の調査、事業所への指導などにも取り組んでいきます。
さらに、公共交通網の整備や自転車等駐車場の維持管理を実施することで、自動車に頼らないまちづくりを進めるとともに、生活道路周辺の騒音防止や安全確保を図るため、幹線道路の整備にも引き続き取り組んでいきます。

○関連事務事業

事務事業	事業名	成果指標	H24 目標値	H24 実績値	評価	H25 目標値	担当
32-0101	公共交通網整備事業	市営バスの利用者数(人)	141,000	148,868	○	143,000	都計
		公共交通運行本数(民間事業者)(本)	490	438	△	490	
32-0401	霞ヶ丘線整備事業	特定時間帯における東西通過所要時間(分)	10	10	○	10	都計
		白鳳小学校北西交差点から雨池南交差点までの通行距離(m)	1,870	1,870	○	1,870	
34-0101	汚水管渠整備事業	管渠整備率(%)	79	79	○	80	下水
34-0102	取付管設置事業	取付管設置率(%)	100	97	△	100	下水
53-0103	河川水質の浄化推進事業	BOD計画目標値の達成率(%)	80	71	△	80	環境
54-0203	合併浄化槽設置促進事業	累計補助件数(件)	103	108	○	108	環境
54-0301	生活環境保全事業	公害苦情解決率(%)	95	96.6	○	95	環境

施策5-2 快適でゆとりある都市空間をつくる

○施策の進捗を見る指標と目標 ※「目標値」が矢印のものは、その指標の方向性を示しています。

指標名		H17 実績値	H25 目標値	H35 目標値	H23 実績値	H24 実績値	評価
31	秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民割合(%)	87.5 (平成16年度)	→	→	90.8 (平成22年度)	90.2 (平成24年度)	×
32	都市景観に満足している市民割合(%)	76.0 (平成16年度)	→	→	80.2 (平成22年度)	82.4 (平成24年度)	○
33	犬のふん・ごみのポイ捨てなどをしない環境マナーに満足している市民割合(%)	38.9 (平成15年度)	→	→	49.1 (平成22年度)	49.1 (平成22年度)	—

※指標33は市民環境意識調査で実施したアンケートの設問を指標としているため、基準値は平成15年度の指標としており、平成24年度の調査対象外となったため、平成22年度の数値を掲載し、評価をしていません。

《現状》

歩道や駅前広場の整備、屋外広告物の適正化などを進めた結果、「秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民割合」と「都市景観に満足している市民割合」は、基準値と比べると高くなっていますが、そのうちの「秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民割合」については、前回と比べ0.6ポイント減少しています。

また、各種パトロールや「尾張旭市良好で快適な生活環境を確保する条例」に基づく指導の実施などによって、「犬のふん・ごみのポイ捨てなどをしない環境マナーに満足している市民割合」も基準値と比べ高くなっています。

《今後の展開》

駅のバリアフリー化を進めるとともに、未整備地区での基盤整備や老朽化した施設管理のあり方などの検討を進めることにより、今後も快適でゆとりある都市空間の創出に努めていきます。

また、飼い主のいない猫によるふん害に対応するため、避妊・去勢手術を施してこれ以上増えないようにし、一代限りの命を全うするまで地域で衛生的に管理をする「地域猫活動」への支援策についても実施していきます。

○関連事務事業

事務事業	事業名	成果指標	H24 目標値	H24 実績値	評価	H25 目標値	担当
32-0301	市道南栄晴丘1号線歩道整備事業	歩道整備率(%)	82	82	○	100	都整
32-0302	歩道バリアフリー推進事業	段差解消を施工した累計箇所数(箇所)	275	275	○	282	土木
31-0303	都市景観啓発事業	都市景観に満足している人の割合(%)	81	82.4	○	83	都計
32-0508	生活道路維持管理事業	道路管理に関する苦情要望対応率(%)	100	100	○	100	土木
43-0303	あんしん歩行エリア整備事業	人身事故発生件数(件)	16	6	◎	15	都整
54-0202	生活環境向上支援事業	雑草除去苦情件数(件)	170	174	△	170	環境
54-0301	生活環境保全事業	ふん害に関する苦情件数(件)	4	1	◎	4	環境

施策5 ピックアップ事業

◇あんしん歩行エリア整備事業

・あんしん歩行エリアに指定した区域内の交通事故を抑制するため、道路管理者と公安委員会が歩道設置や交通安全施設の整備を行う。

・平成15年度から22年度:印場・瑞鳳地区(約143ha)の整備を実施

・平成22年度から:三郷地区(約11ha)の整備を実施中



みなさまのご意見・ご感想をお寄せください！アイデア募集！

尾張旭市では、市民・市民団体、事業者のみなさまからの声を環境行政に反映させていただくため、この環境基本計画年次報告書の内容について、意見・感想を募集しています。

それぞれの取組みが、より良い方向に進めるようなアイデア、感想、チョット言いたいんだけど・・・といったこと、また、年次報告書の内容全般について等、何でもかまいません。

1 意見等の締切日
平成26年1月17日（金）

2 意見等の提出先及び提出方法

(1) 提出先

尾張旭市役所 環境課

(2) 提出方法

ア 郵送の場合

〒488-8666 尾張旭市東大道町原田2600番地1

（住所は書かなくても届きます。）

イ FAXの場合

0561-52-0831

ウ 電子メールの場合

kankyou@city.owariasahi.lg.jp

※様式は自由です。なお、最終頁に参考様式を掲載していますので、ご利用ください。また、意見等を提出の際には必ず住所・氏名・年齢をご記入ください。なお、電話での意見は受け付けませんのでご了承ください。

※お寄せいただいた意見等は、翌年度の年次報告書作成の参考にさせていただくとともに、その意見に対する市の考え方について、ホームページなどでの公表を予定しています。（意見部分のみ）

※ご記入いただいた個人情報については、意見等のとりまとめ以外の目的には使用しません。

3 問い合わせ先
尾張旭市役所 環境課 環境係 TEL：0561-76-8134（直通）



「平成25年度 環境基本計画年次報告書」に関する意見等記入シート

<small>(ふりがな)</small> 氏 名	年齢	住 所

※お寄せいただいた意見等は、翌年度の年次報告書作成の参考にさせていただくとともに、その意見に対する市の考え方について、ホームページなどでの公表を予定しています。（意見部分のみ）

※ご記入いただいた個人情報については、意見等のとりまとめ以外の目的には使用しません。

提出先…尾張旭市役所 環境課

- 郵送の場合：〒488-8666
尾張旭市東大道町原田2600番地1（住所は書かなくても届きます。）
- FAXの場合：(0561)52-0831
- 電子メールの場合：kanky@city.owariasahi.lg.jp